

# びるか 議会です

## こんにちは。

### 2012年1月号

発行/北海道美深町議会 編集/議会広報特別委員会  
〒098-2252 北海道中川郡美深町西町18番地 TEL01656-2-1651  
印刷/有美深印刷



和気あいあい 議員との懇談会  
COMカレッジ110美深大学新年のつどい  
(1月16日)

第4回定例会 ..... 2 ~ 3

8議員が登壇 一般質問 ..... 4 ~ 11

町民の皆さんとの懇談会報告 ..... 14 ~ 15

# 第80号

# 第4回定例会

12月12日～16日



## 24年度以降の

### 指定管理者が決定

給与の一部改正、補正予算など

11本の議案、意見書2本、承認1本を審議

### 全て原案可決

交通ターミナル管理は、美深町観光協会が5年契約

公園管理は、美深町環境整備組合が3年契約

質問 指定管理の範囲はどのように区分されているのか。生活環境G主幹ターミナル本体と自転車小屋が対象になっている。駅前の駐車場はJRの管理下で対象外。(全員賛成)

#### 対象となる公園

園園園園園  
公公公公公  
布丘川内  
深宇仁菊玉恩  
美仁菊玉恩

質問 公園管理者の応募は1社だけだが、管理計画に変更があったのか。



観光協会が管理の交通ターミナル

施設G主幹 前回と同じである。

質問 公園内の管理には、研究機関の助言も取り入れた管理をすべきではないか。施設G主幹 これまでの管理を継続していく。研究機関に意見を聞くのもやぶさかではない。(全員賛成)

体育施設管理は、(株)クリアが3年契約

#### 対象となる施設

町民体育館  
プール、野球場  
テニスコート  
運動広場  
北町ゲートボール場  
ゴルフ練習場

質問 町民からの要望に、どのような対応をしているのか。

また、経費節減が利用者のサービス低下につながっていないか。教育G主幹 管理業者が対応している。



(株)クリアが管理の体育館

教育委員会にきた要望は、業者と話し合いをしながら対応している。経費節減は、利用者へのサービスが低下しないように努力していく。(全員賛成)

### 一般会計 補正予算

入札による節減効果等により1159万2千円の減額補正

質問 育成園の補助は、地方債(町の借金)で行う予定ではなかったのか。

総務G主幹 交付税の額が当初予定を上回ったことや、節減効果もあり借入なしで対応できた。  
質問 除雪グラレーダの購入を取りやめた理由は。  
施設G主幹 国の補助が確定しなかったため次年度に要望する。(全員賛成)

### 国民健康保険 特別会計

療養給付金等の増加に伴い811万2千円の追加補正(全員賛成)

# 第4回定例会



快適になった育成園

## 介護保険 特別会計

施設サービス・予  
防サービス給付費の  
増により2603万  
8千円の追加補正  
(全員賛成)

## 簡易水道事業 特別会計

人事異動に伴い24  
万9千円の減額補正  
(全員賛成)

## 下水道事業 特別会計

消費税確定により

372万7千円の追  
加補正 (全員賛成)

## 水道事業 会計

導水管の移設に伴  
い3751万2千円  
の追加補正  
質問 美深道路の着  
工により発生した工  
事なのか。  
管理G主幹 以前か  
らの計画である。美  
深道路が着工になっ  
たため、工事に合わ  
せて行った。道路工  
事にかかわる部分は  
国と補償を協議して  
いく。  
(全員賛成)

## 職員給与条例の 一部改正

人事院勧告により、  
50歳代を中心に40歳  
代以上を念頭に置い  
た改正となり、0・  
23%の引き下げとな  
る。  
(全員賛成)

### 環太平洋経済連携協定 (TPP) 交渉に反対する 意見書

政府は、環太平洋経済連携協定(TPP)交渉への参加を表明したが、畑作・酪農・畜産などの農林水産業を基幹産業とする本道において、TPPが締結されると、海外の安い農水産物が大量に流入し、農山漁村は崩壊するおそれが高い。

こうした中で、国民に対して情報提供がなされず、国民合意がないまま、交渉参加に向けた関係国との協議の開始を総理大臣が表明したことは極めて遺憾である。

今、政府が行うべきことは、足腰の強い農林水産業を構築し、農山漁村を再生させることである。

よって、国においては、TPP協定が地方の産業と国民生活に及ぼす影響などについて十分な情報提供とあわせて、国民的な議論を行うとともに、引き続き、道民・国民合意のないまま、関税撤廃を原則とするTPP協定には参加しないことを重ねて強く要望する。

### 意見書 2件 採択

送付先 衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
各関係省大臣

### 住民の安全・安心なくらしを支える交通運輸行政の充実を求める意見書

政府は「地域主権戦略大綱」を閣議決定し、国の出先機関について原則廃止の方針を打ち出し、国土交通省の地方運輸局もその対象の一つとしているが、基本的な人権たる移動する権利を国の責任で保障するためには、中央の国土交通省と出先機関である地方運輸局が一体となって行政を実施することは勿論、住民の安全・安心な交通と運輸を確保するために地方運輸局の充実こそ必要といえる。下記の事項を実現されるよう要望する。

1. 震災復興と被災地対策をはじめ、住民の安全・安心な交通運輸を支える行政は、国が責任をもって直接実施すること。  
2. 住民のための交通運輸行政確立のため、国の出先機関である地方運輸局を充実すること。  
3. 広大な北海道の交通・運輸行政を充実するために、運輸支局を充実すること。

# 一般質問



諸岡 勇 議員

- 1 観光行政を充実するために
- 2 美深中学校の改築・改修事業の進め方

## 問

観光スポットに

地域特性を入れては

## 答

グリーンツーリズムの

モデル地区に

質問 観光入り込み客数減少の要因と近年効果の出た客増の取組みや観光サービスの今後の対応、さらに時間がかかる旭川空港から美深町までの交通手段・整備などの考えは。

光スポット・観光施設設置など考えは。

町長 団体旅行が減り家族やグループの増加傾向にある。大型バスの利用者7割減で道の駅は客数減。観光資源開発で函

観光協会の食のメニュー開発プロジェクトの誕生でお菓子に注目、農産物特産品など町外でPR情報発信の機会を得た。

サービスで施設などの接客・案内所での情報提供で努力し、観光に携わる人材の育成、地域全体で観光客を受け入れる姿勢、ワンストップサービスの確立が必要と考える。

当地までの交通整備、観光地までの交通アクセスで、JRで2時間30分、昔からかなり早いですが、宣伝が行き届いていない。

グリーンツーリズムのモデル地区で、地域の暮らしや交流を素材にメニューづくりの提供をし、事業展開に活かされる。

さけ・ますふ化場は、中川町の鮭遡上見学が好評のなかで難しい課題。

質問 美深中学校の改築・改修事業の進め方で、既に施設整備基本設計委託料が計上され、改築計画検討委員会が設置されている。

## 答

財政・条件合意で提起

## 問

巨額の整備に慎重を

研究機関の人口推計で平成47年には、本町の中学生の数が50名を下回る小・中学校を併設した整備計画で節約出来ないか。

中学生徒数は平成30年84名で7年間で42・1%減少。

学校給食は、23年に結論を出すと言ったが相当慎重が必要で、学校給食の実施には法的根拠が必要、教育委員会の経過は。

教育委員長 学校給食は、平成13年4回定例会に白紙の表明以来今日に至り、平成17年食育基本法が施行。21年4月に学校給食法の目的が改正され食育の推進が盛り込まれた。

近年学校給食に対する要望が高まり教育委員会議で協議を重ね考え方を整理し今後協議する必要があるので考える。

教育長 中学校の改修は、生徒数の将来の見込みや学校現場の状況を精査する中効率的な規模に。

学校給食は、検討委員会での意見で12月に方向を出すに至っていない。



さけ・ますふ化場に観光スポット

# 一般質問



岩崎 泰好 議員

## 1 計画実現に向けた住民コンセンサスのあり方

**問**

**住民合意のあり方**

**町民が満足する手法は**

**答** 手順を踏んでやっている

**質問** 計画実現に向けた住民合意のあり方、行政サービスを受ける側の町民が満足する政策を進めるその手法について、(仮称)高齢者等活動センターの建設にあたっては、住民の考え方を十分に反映した内容の施設にすべきと思うが、取組についての問題点はなかったのか、経過と今後の展開は。

**質問** 短期間での合意形成に、役員の方は面食らったと聞く。それはやはり親切・丁寧さに欠けるのではないか。

**町長** 改めて町内会の人たちの本音の部分をしつかり聞いて、使い勝手の良いコミセンに仕上げていくのが本来のあり方ではないか。



注目の高齢者等活動センター模型

**町長** 唐突に会館の問題や老人ホームの問題が出てきたわけではなく、長年議論をしてきた。

色々なご意見をいただいております、様々な機会を通してそれなりのコンセンサスはある意味とれてき

**町長** 状況によって直接町民の皆さんに問わなければならぬ課題があれば実施していく。

色々な状況の中で判断をしていかなければならない課題だろうと思っています。

**問**

**「学校給食」**

**情報提供による問いかけは**

**答** 課題が出れば実施

ていると思う。使い勝手の良いコミセンをつくるという

う点については、そのように努力をしていきたい。

**質問** 学校給食の実施に関わる町民アンケートの問題について、単純に賛成反対というだけではなく、今後の財政状況とか具体的な計画や色々な給食実施についての情報を判断材料として示し、町民に問

学校給食のあり方について率直なご意見を聞くことが大前提であり、わかりやすく回答を得ることに重点を置いて項目を設定。

今後の活用は、検討委員会等の中でひとつの資料として参考とする。

様々な情報についても検討委員会等の中で報告していく。

# 一般質問



山本 進 議員

- 1 農業振興策について
- 2 過疎対策について

## 問 美深農業の目指す姿は

### 答 主要政策の配置で 夢のある農業の実現へ

**質問** 農業の今後の目指す姿を考え政策配置をどうするか。

**町長** 環境と調和した安全・安心な農業の推進、生産性の向上と付加価値化の推進、担い手の育成確保とゆとりある農業の推進、優良農地の確保と有効活用。四つの主要政策を配置実現したい。

**質問** 担い手の確保、新規就農者の獲得は農業振興のかなめ、どのように取り組むか。

**町長** 農家自身が農業を職業として選択できる環境作りが何よりも重要、Uターン者や農外者からの人材を広く新規就農者として受け入れていく。



担い手育てる体験授業



美深町の観光ガイドブック

**質問** 農業研修生宿舎のみの建設か、構想はあるか。

**町長** 町有地を開放し、農家も積極的に参加する自覚がほしい。振興センターも一翼を担う。

**質問** 町の観光ガイドマップに野菜直売所、加工所等を掲載し、発信できないか。ゆるキャラを活用して美深町全体をアピールできないか。

**質問** 農商工連携に向けた取り組みは。

**町長** 取り上げられるものは取り組みたい。

**町長** 消費者との交流、商業観光の連携

**町長** 我が町として取り組みをしており、自然財産など情報を発信し、美深町の特徴を活かした田舎作りを進める。

経営感覚に優れた担い手を育成・確保するように美深町担い手協議会を中心に北海道農業担い手育成センターと連携し推進する。

担い手を育てるため、児童生徒への農業体験など農業の役割・魅力を伝えることも大切。

農地集積が進む中、労働力の確保対策では、シルバー人材センターや外国人技能実習生の受入、労働力の確保、農業生産法人・共同システムなど地域に即した体制整備が必要。

## 問 過疎対策の取組は

### 答 我が町の特徴を活かす

**質問** 近年の田舎暮らし志向を受け、空家、空き地バンクの創設、情報システムを作り上げ、過疎対策として活用できないか。

**町長** 我が町として取り組みをしており、自然財産など情報を発信し、美深町の特徴を活かした田舎作りを進める。

# 一般質問



小口 英治 議員

- 1 中学校改築と給食施設について
- 2 仮称高齢者等活動センター整備事業と商工業の振興について

## 問

大幅な人口減少に対し  
中学校の改築は妥当か

## 答

各学年1学級を踏まえ

充分検討し推進

**質問** 中学校の生徒数が今年度145名に対し平成30年度84名で大幅な減少が予測される中、特別教室の確保など建設経費と財政負担の考え方は。

回収403の結果をどう捉えるか。建設費、運営費用等を除いた設問になっていくなど判断材料に欠けるのではないか。

**教育長** 回収は少なかったが、内容は重視したい。

まだ試算の段階ではない。自校、センター方式いずれでも学校給食施設は交付金制度があるので、大きな差は出ないと考えている。

基本的な方向が出れば財政負担等含め充分認識しながら取り組む。

## 問

複合施設は  
賑わい創出になるのか

## 答

有効的な利用で賑わいを

**質問** 6月の定例会で商店街の賑わい再生事業に関し、老人憩の家・公衆浴場コミセンの複合施設の計画を述べられたが公衆浴場部分が含まれない案が提示された点と仮称「町のサロン」部分をどの様に賑わい創出を図るのか。

**町長** 将来的に公衆浴場部分として利用出来る設計にしたい。

老人、第2町内が中心の併用施設で重要な町の位置にあり大事な賑わいの施設。

**質問** 老人施設、コミセン各々管理条例があるが、町のサロン等町民に開放できるのか。

**町長** 町としては有効に使ってほしい。

第2町内、老人憩の家の使用していない部屋を開放するという姿勢に望みを託している。



複合施設の平面図

**質問** 給食のアンケート調査で、サンプル数2392の内、



改築される美深中学校

# 一般質問



藤原芳幸 議員

- 1 住民参加のまちづくり～住民の意見、情報の収集について
- 2 町内の防災計画について

## 問

情報公開は

これまでどおりでよいのか

## 答

住民の声を聞く耳を

持っていきたい

**質問** まちづくりに住民に参加してもらうためには、情報の提供と収集が大事だがこれまでの広聴活動の成果は。

**町長** きないが、積極的に声を聞く努力をしていく。職員に対しても住民の意見を聞き行政活動するよう指示している。

**町長** 住民の声を聞く耳を持つ姿勢が大事だと考える。限られた会議だけでは、意見の聞き取りでは

**質問** 幅広い町民の声を吸い上げる工夫が必要ではないか。



第4・5 スポレクグルメ祭り  
(元気づくり事業活用)

**町長** 色々な町民の声を吸い上げ、反映できるように体制作りをしてきた。ストレートに意見反映がされてきていると感じている。

**質問** インフラ整備から人づくりのまちづくりへ重点を置くべきではないか。

**町長** インフラ整備は行政課題として優先的に考えなければならぬ。地域活動を支えていくのは人づくりである。

**町長** 我が町の自治会活動は先進的なものと考えてはいるが、課題もあり検証していく時期に来ている。

**町長** まちづくりは、意識の問題で、議論だけでなく実際にどういうものを作っているのか、どういう仕組みがよいのかいくつかり組んでいる。

## 問

今後の防災計画は

## 答

来年度中には提示したい

**質問** 現在策定中の防災計画は、どのような災害を想定しているのか。またいつでき上がるのか。

**質問** 防災端末機の今後の活用方法として、町内にある子局を利用した情報発信を推進すべきではないか。

**町長** 豪雨、洪水、豪雪が中心となるが、地震に対する備えも考えている。計画は国の指示、道との協議があるが来年度中にはまとめたい。

**質問** 町内には独自の防災計画を持つ施設があるが、計画を作るにあたっては協議が必要ではないか。

**町長** それらの施設とは十分連携をし、地域では隣近所との繋がりを新たな自主防災活動の中に取り入れていきたい。



見直されるハザードマップ

**町長** 教育機関、商工会、農協その他公的団体等、情報の発信できる子局を16か所設置している。試行錯誤しながらも利用されてきている。公序良俗に反しない限り自由に使用してもらいたい。



# 一般質問



南 和 博 議員

- 1 新年度予算における農業予算の考え方について
- 2 新年度における各種住宅建設整備事業の考え方と公営住宅の管理体制について
- 3 美深道路完成後の街中活性化策について

## 問 新年度の課題解決策は

### 答 農家との接点深めたい

**質問** 農業予算については畑作振興、担い手対策、有害鳥獣対策等が課題としてあるが新年度の考え方は。

さらに農業振興センターの隣接地に実習生等の受け入れ住宅が建設予定だが、センターの運営に新しい展開があるのか。

観光の一助にもなり、また町内工商業者の活性化にもつながるが、農村の環境整備対策の一環として農業施設整備等に補助制度ができないか。

**町長** 輪作維持耕畜連携事業は生産者の評価も高く継続。有害鳥獣対策はエゾシカ侵入防止の電



新しい展開へ  
実習生受入予定地

牧柵整備を継続支援し捕獲対策を強化して個体数減に取り組み。担い手対策は、振興センター隣接地に農業研修生等の宿舎を建設すると共に農家との具体的な関わりを見直し、農業振興に資する職員育成

を図る。農家圃場活用の試験研究、農畜産物の付加価値向上につながる各種講習会を開催したい。施設整備への補助制度は、商工業者の魅力ある店舗づくり支援事業の農業版として制度化できないかとの質問だが、基盤整備や家畜排泄物環境特別対策事業などで支援しており、今の段階では難しい。

## 問 街中活性化の対策は

### 答 年明けから具体化



美深道路景観植樹

**質問** 平成24年度中に完成が予定されている美深道路は、美深市街を経由することなく国道40号につながるが、商工業者への経済的影響が懸念されるが要望及び対策案は。

**町長** 農業観光やスポーツ大会誘致も含めて、町の施策展開で美深町への入り込み客増につなげることも必要ではないのか。

**町長** 商工会としても非常に危機感を持っていることから、「(仮称)元気なまちづくり創造会議」を設立し年明け以降具体的な動きが出てくる。

「美深道路景観検討懇談会」の議論からスキー場を町の計画と合わせて、花などを植栽し観光にも配慮した町のシンボリックな整備を考えている。

旭川開発建設部と意見交換の場を設け活性化に向けた相談をしていく。

提案があったことも含め職員共々考えて行きたい。

# 一般質問



林 寿一 議員

- 1 企業誘致、その後の進展は
- 2 町内公衆浴場について
- 3 市街地道路の除雪について

## 問 企業誘致その後の進展は

### 答 公的補助など着実に進めている

質問 企業誘致による町おこしとの考えは過去にも幾度かあった。

今回の企業誘致に関する会社は、美深町に關係の深い方との事であり、町の活性化を期待するものである。  
その後の進展が伝わってこないがどうなったか。  
町長 高校や大学を卒業して地元での就職を希望する人のため、雇用の場を確保し、町外流出を止めたい。  
今回の企業主は、地元出身者で早期実現に向けて取り組んでいきたい。  
国や道の指導の下、名寄、下川そしてわが町で公的支援を受

けることがまとまり、国の5省庁連名での同意の旨の通知があり、着実に企業誘致を進めている。

## 問 町内公衆浴場

### 答 経営者の考えを尊重した取り組みを

これからどうなる



公衆浴場 旭湯

質問 町内の公衆浴場は経営者の都合で暫らく休業していたが、最近再開され利用者も一安心。  
しかし、高齢者等活動センター（仮称）なる施設の隣接計画があり、公衆浴場を見据えたものであり、これらの件を現経営者と協議はされたのか。  
公衆浴場の今後の

あり方は。

町長 高齢者等活動センター（仮称）は入浴施設をもった老人施設の移転である。浴場経営者とは担当を通して接触は行なってきた。  
今後は、経営者の考え方を尊重し慎重に取り組んでいきたい。

## 問 市街地道路除雪玄関先も

### 答 効率的な作業を

質問 市街地道路の除雪は車道優先で、歩道を確保しているのはほんの一部だ。

降雪時の朝の除雪は各家庭の玄関先に固まった重い車道の雪が残される現状。高齢者の多い中でその雪の始末は重労働であり、整理すべき。

また、流雪溝、融雪溝を再度考えては。

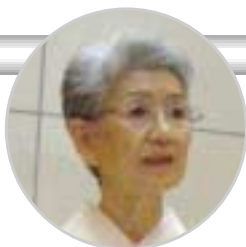
町長 市街地道路の除排雪は住民生活の基盤となり、限られた時間で効率的な作業をやらねばならない。

各戸の玄関先の除雪等に苦情があるが、担当が1件1件対応して理解を得ている。  
流雪溝、融雪溝は我が町には難しいという観点に立っている。



早朝からの除雪作業

# 一般質問



藤守千代子 議員

## 1 中学校の改修・改築について

### 問

改築に向けた取り組みは万全か

### 答

ぬくもりと

安らぎのある校舎建設を

**質問** 中学校の改修に向けて作業が進んでいる。南側は改修、東側は改築、格技室は取り壊しの方向で作業が進んでいるが、全面改築と一部改修・改築の経費を比較検討しての提案か。

**教育長** 学校施設整備に関しては、既に基本設計業務を委託した。同時に中学校改築等検討委員会も立ち上げ一部改修・一部改築を基本として今年度中に結論を出したい。



太陽光パネル設置の学校施設  
(美唄養護学校)

南側の普通教室は生徒数減であり、また改修が可能と判断した。  
平面プランが決まり次第経費を示す。

**質問** 教育委員や担当職員は改修の取り組みに先駆け、先進地視察等の研修を実施してきたか。  
**教育長** 中学校改築に検討委員会を立ち上げたが委員の選任方法が

**教育長** 特別視察研修はしていないが学校現場や委託業者等の専門的な意見を参考に進めている。  
**教育委員** や教育長は平成16年より具体的な検討を進め、研究会や会議等の機会に改築されている学校等の視察をしている。  
**検討委員** の選任は学校現場や組織の中から選考。



美深中学校改修予定平面図

現在の授業内容では体育館でできるとの判断ではあるが、格技室についてはこれからの議論となる。

**質問** 自然な光や風による快適な空間、また冷暖房に太陽光発電の設置などの取り組みにより環境面への配慮した施設にすべき。

**教育長** 快適な学習環境を整えるためには可能な限り木材を使用し自然エネルギーの活用のできる改修にしたい。  
全体の暖房には太陽光発電等も視野に入れ、経費の問題や管理の効率化等を視野に学校改築の議論を重ね改修改築を進めたい。

**教育長** 格技室は老朽化しており現在は体育館で授業をし格技室は特別室として活用している。

### 増え続ける 滞納対策は

近年経済情勢の低迷による町税及び国民健康保険税の徴収率が下がり、滞納繰越金額も増加となっていることからその改善策について調査

### 調査の概要

美深町は平成20年に美深町税等滞納整理対策本部を設置し徴収に対しては、訪問徴収強化、納税相談、国民健康保険証の更新制限等業務を進めているが、回収対策として財産の調査や、差し押さえ処分は、厳しい徴収業務に対し抵抗感があり実施していない。滞納者の大半は、生活困窮者・国保に

においては季節的収入減などから一層のきめ細かな徴収活動が求められる。

今回上川広域滞納整理機構に参入で一部業務が軽減されるが、一層の対策本部や税務グループの徴収業務体制強化が急がれる。

### 防災情報端末機の有効利用について

#### 調査の概要

防災端末機は役場親機を基地とし、子機局を町内各事業所の16か所に設置されているが、利用頻度は差異がある。利活用については相互に検証し、有効活用できるように研究検討が急がれる。住民に対しては、情報端末機の活用の習慣と義務付けができるような発信方法の検討も必要。

### 町広報誌の紙面づくりについて

町民に読んでもらえる紙面づくりにはカラー印刷などが主流になってきている。財源確保等、民間活力の導入なども視野に入れる時代である。美深町役場ホームページは、町内外に情報発信の宣伝媒体として見る側の視点に立った編集構成が必要であり、改善の検討を求めたい。

# 報告

の課題や将来の町づくりにより調査研究を行う調査が終了したので、



町内16カ所に設置の子局

## 議会に求められるものは

### 上川町村議会 議長会主催の 研修会

平成23年11月9日(水)旭川で開催。

研修会は、上川町村議長会会長(上富良野町議会議員)のあいさつに始まり、最初は「議会が変われば自治体が変わる」と題し北海学園大学法学部政治学科教授 神原 勝氏による講演が開催され、「議会の本質とは、住民への情報公開は論点・争点を明確にし行政の監視を行い、結果として政策提言につなげること」「議員あって議会なし、と言われぬよう議会というもの形を見せない」と、議員の評価にもつながらない」という提言あり。

その後「大丈夫か、日本の危機管理体制」と題し元自衛隊北部方面総監 志方俊之氏の講演があり、「日本が、今世界に対して持っている格差は、核の格差・資源格差・先進技術格差・情報の格差」を上げ、「今後、日本は非常に難しい政局と国家運営をしなければいけない」と結んだ。



総務住民

産業教育

# 委員会

各委員会では、田  
りに関して、研修な  
ってきました。その  
内容を報告します。

## 産業教育常任委員会

……(10月12日)……

### 町有林・学校林 管理の現状は

#### ◇調査事項

- 1、町有林および学  
校林の施業管理実  
態
- 2、美深町森林整備  
計画作成について

#### 現地視察

- ・町有林  
小車32林班、

吉野11林班

#### ・学校林

美深小学校  
敷島10線

旧美深第2小学校  
敷島9線

#### ◇調査内容

町有林および学校  
林の施業管理実態

平成22年度施業内容

造林 4・8 ha

下刈り 22・95 ha

間伐 10 ha

水土保全管理は次  
のゾーニング区分が

された。

- ①水源涵養林



敷島の学校林

●町有林の今後の維  
持管理については、  
概ね620haあるが、  
今後伐期を迎えた木  
に対しては路網整備  
を行いながら的確に  
販売の方向性を持っ  
ていくのが必要。

### 1、町有林及び学校 林の施業管理実態

標準的施業など行  
う必要。

- ②山地災害防止林
- ③生活環境保全林
- ④保健・文化機能等  
維持林
- ⑤木材等生産林

●旧厚生・旧恩根内  
小学校の学校林は今  
後管理が難しいため、  
契約相手との話し合  
い、見直しが必要。  
(契約解除等の考え  
方。返還について検  
討が必要。)

美深小、旧第2小  
学校の間伐調査を行っ  
たが、今後間伐が順  
調に進められるかど  
うか生活環境保全林  
の関連で課題あり。

### 2、美深町森林整備 計画の作成

●旧天木所有林の保  
育が終了したものに  
ついては無償譲渡で  
返還してもらい、保  
育の残っているもの、  
今後、森林組合との  
話し合いによって方  
向性を見出すべき。

## 話題を 追って

▶今期の定例会一般質問に立った8名の議員。

▶質問項目の中で、「美深中学校の改修・改築」「学校給食問題」の方向性、高齢者等活動センター新築では「老人憩の家」「公衆浴場」「第2町内会コミセン」について、行政側の考え方をただした議員が多い。

▶町民の関心事や話題の中心にこれらの問

題が浮上し、大いに議論されることに健全な町の明日が見えてくる思いだ。

▶懇談の手法も、少人数のグループの分科会方式で、身近に意見を聞くスタイルも取り入れ、好評だ。

▶かつて経験したことの無い、少子高齢化社会の到来という不安材料の中で、どのようにして「心豊かに住み続けることが出来る持続可能な地域社会づくり」に、住民・議会・行政がしっかりと知恵と汗と力を結集する時期を向かえているのではないだろうか。

さまざまなご意見を  
いただきました。

# 町民の皆さんとの懇談会

## 3会場で開催



平成23年11月8日(火)午後1時30分から恩根内・仁宇布地区で、午後6時30分からCOM100大会議室で住民との議会懇談会が開催された。

今回のテーマは「安全・安心なまちづくり」と題して、防災端末機、医療の充実、フレックスバス、デマンドバス、複合福祉施設などについて懇談が行われた。

昨年4月の一般選挙後の議会構成に始まり6月定例会、9月定例会など、平成22年度各会計決算審査特別委員会の報告が議長からされ、参加住民から、報告に対して何点が質問された。COM100の会場では、参加者を3つのグループに分け懇談会が行なわれ、多岐にわたりご意見要望等が出された。今後このようなご意見要望を議会活動に活かしたい。

### 町民のみなさまから のご意見(要約)

#### 使っているの？ 防災電話

●年寄りが使いこなせない。早い時期に使い方の説明ほしい。

- 一部活用したが回覧は見えていない。
- 一日一回は、確認が必要ある、習慣づけが必要。
- 音声がある時に見る見ないがある。
- 供用を開始したときに、注目する情報が出されれば見る。
- 防災組織作った。端末機を使って訓練できるがやっていない。
- 地域担当員と話し

●「重要」なら見るが、「この程度」なら見ない。

●学校にある端末機から地域に随時情報を発信してる。

●実際どういう使い方ができるのか。例えば警報等の気象情報は流せるのか。

#### 医療の充実

●グループ発信や緊急通報など、運営の周知が不足している。

●厚生病院で夜間の外来で親切な対応で診察してくれ助かった。

●医師の充実をしてほしい。定住自立圏構想の中では医師の派遣を担保するなど議論してほしい。

●AEDが学校に設置しており、地域で消防の講習をつけた。

(仁宇布)

●学校で行う健康診断が今年から移動して行うことになった。授業時間が移動のために割かれる。

(仁宇布)



続けてほしい  
公共交通  
(フレックスバス  
デマンドバス)

- 日曜日、夜間、行事等がある場合にも運行してほしい。
- 仕組みがよくわからない、パンフレットの字が小さすぎて読めない。
- フレックスバス、防災電話で予約すると、出してもらえない場合がある。
- 自宅前で乗車でき



の方がよい。  
● 降車時、運転手に次の予約は出来ないのか。

● フレックスバスの運行に不安がある。  
● 高齢者では30分前の予約は難しいのでは。

● 手を挙げれば、そこから乗れないのか。  
● 8線停留所（北洋銀行前）の待合所がなくなり大変不便だ。

● 安心して利用している。  
● 朝夕のスクールバスは学校用務で、中間の運行を有効にしてほしい。

使い勝手は？  
複合福祉施設

● 施設の利用は誰でも年齢に関係なく自由に利用できるのか。  
● 建設場所が現在の位置から移動となるが足の確保がほしい。



● 建てるに当たりメリットデメリットを論議してほしい。  
● 排雪を実施する日を防災電話で教えてほしい。

課題は？  
教育問題

● 仁宇布小中学校の山村留学と耐震強度は。  
● 仁宇布小中学校存続について  
● 家庭での食育の面

で弁当は大事である。また給食費の未納が心配である。  
● 建設費、給食費の設定金額、運営費用など数値を示すべきだ。

意見あり？  
学校給食

● 給食アンケートは具体的に事業規模や資金規模を示して調査すべきだ。この調査内容では偏った意見が反映されてしまう。

● 児童数も減少が続く状況では、慎重に判断すべきだ。  
● 給食を実施している他町では、設備更新や未納問題が重荷になってきている。  
● 衛生管理が大変ではないか。  
● 委員会などで事前調査するなどして対応するべきだ。

なんとかして  
除排雪

● 除雪後、自宅側に雪が堆積し困っている。  
● 除雪後の道路が滑りやすく危険。  
● 子供の通学の安全確保のため除雪体制をしっかりとしてほしい。

続けてほしい  
懇談会

● 懇談の機会を、多く持つしてほしい。  
● 定住自立圏構想や滞納整理機構加入について住民への説明がほしい。



# 私からのメッセージ



昨年5月に縁があつて美深育成園にお世話になることになりました。美深町民の誕生です。私自信隣町に生まれたこともあり、美深町に馴染みはあったものの新人町民のための見学

会に参加することで、特産品もいただいで美深町の輪郭など知る良い機会となりました。仕事の面では、施設の全面改築という大きな事業の着工があり、美深町や多く

の方々のご支援などいただき、昨年12月に無事終えることができました。新しく快適な環境で子どもたちの発達成長など見守っていききたいと思えます。今後、また

美深育成園というところで生活している美深町の子どものように、街灯の少ない所が目につきます。暗いと安心安全の面で心配ですので、改善されればよいと感じています。

## 美深の住人となつて

(新生町内会) **長野正稔さん**



## 人が来る町に

(第五町内会) **佐々木幸枝さん**

塩狩峠以北どの町もシャッターの降りた商店が多くなりつつあり、地域活性化をいかにすすめるかが大きな課題になっています。現在進められている美深道路の延長工

事が完了し、開通すると人の流れも変わるとおもいます。美深町内に町外からより多くの人に来てくれる取組みが今以上に必要であり、特に、市街地区での滞在時間が長くなる

ような工夫が大切と考えます。道の事業で昨年実施した「グリーンライフツーリズム実証モデル事業」的な活動を、農商工が連携し、定着拡大を図っていくことが美深町

に人が来、町が活性化していく一つの糸口と思えます。美深町のすばらしい資源を生かし、美深町に行ってみたいと思えるような取組みを情報発信していくことが大事だと思います。町民の意見やアイデア等を町政に反映していただくことをお願いします。

## 議会のご案内

### 第1回定例会

3月上旬に開会します

議会を傍聴しませんか？

日程が確定しましたら、防災端末機、新聞折込み等でお知らせします。